



平成25年度 那賀町当初予算のお知らせ

一般会計当初予算 (前年度比 2.49%減)

当初予算合計 **92億4,200万円**

歳入予算内訳

依存財源	74億8,415万4千円
国・県から交付される財源で、この比率が大きいほど、国や県に依存している。	81.0%

自主財源	17億5,784万6千円
町税や使用料など、町が自主的に収入できる財源のこと。	19.0%

区分	予算額	構成比
地方交付税	49億円	53.0%
県支出金	9億9,349万7千円	10.8%
地方債	8億6,750万円	9.4%
国庫支出金	5億2,092万3千円	5.6%
地方譲与税	9,595万円	1.1%
地方消費税交付金	8,100万円	0.9%
自動車取得税交付金	1,600万円	0.2%
利子割交付金	233万9千円	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	195万8千円	0.0%
配当割交付金	298万7千円	0.0%
地方特例交付金	100万円	0.0%
交通安全対策特別交付金	100万円	0.0%
繰入金	4億3,121万9千円	4.7%
市町村税	8億7,925万3千円	9.5%
使用料及び手数料	2億3,175万7千円	2.5%
諸収入	7,134万7千円	0.8%
分担金負担金	6,586万5千円	0.7%
繰越金	2,363万5千円	0.2%
財産収入	5,476万7千円	0.6%
寄付金	3千円	0.0%

歳出予算内訳

◆目的別歳出予算

区分	予算額	構成比
議会費	8,267万9千円	0.9%
総務費	15億7,075万7千円	17.0%
民生費	15億5,908万7千円	16.9%
衛生費	7億7,941万2千円	8.4%
労働費	960万円	0.1%
農林水産業費	13億3,703万2千円	14.5%
商工費	6,366万3千円	0.7%
土木費	8億4,166万4千円	9.1%
消防費	4億2,924万円	4.6%
教育費	7億364万7千円	7.6%
災害復旧費	2,727万5千円	0.3%
公債費	18億794万4千円	19.6%
予備費	3,000万円	0.3%

◆性質別歳出予算

	区分	予算額	構成比
1	公債費	18億794万4千円	19.6%
	人件費	18億4,255万1千円	19.9%
	扶助費	4億4,072万3千円	4.8%
2	普通建設事業費	20億9,879万1千円	22.7%
	災害復旧事業費	2,727万5千円	0.3%
3	物件費	13億8,392万2千円	15.0%
	繰出金	7億6,121万4千円	8.2%
	補助費等	7億7,974万円	8.4%
	積立金	2,800万2千円	0.3%
	貸付金	858万円	0.1%
	予備費	3,000万円	0.3%
	維持補修費	3,325万8千円	0.4%

1	義務的経費	40億9,121万8千円	44.3%
2	投資的経費	21億2,606万6千円	23.0%
3	その他経費	30億2,471万6千円	32.7%

特別会計当初予算

当初予算合計 **44億4,896万4千円**

特別会計名	本年度予算	特別会計名	本年度予算
国民健康保険事業特別会計	11億7,381万6千円	集落排水事業特別会計	1億3,458万6千円
国民健康保険診療所事業特別会計	4億6,488万5千円	ケーブルテレビ事業特別会計	1億525万6千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,606万7千円	財産区事業特別会計	44万6千円
介護保険事業特別会計	16億1,500万円	町立上那賀病院事業会計(公営企業会計)	6億3,573千円
簡易水道事業特別会計	1億3,324万円	工業用水道事業会計(公営企業会計)	2,993万8千円

平成25年度 那賀町当初予算の特色

平成17年3月、那賀町が発足して9度目の予算編成となりました。

昨年12月に行われた第46回衆議院議員選挙の結果、それまでの民主党・野田政権に代わって誕生した、自民党・公明党による安倍政権は、デフレ経済を克服するためにインフレターゲットを設定し、これが達成されるまで日本銀行法改正も視野に、大胆な金融緩和措置を講ずるというアベノミクスと呼ばれる金融政策を打ち出し、経済界の期待を集めています。

また、政府は平成24年度大型補正予算を編成し、自治体に対しても1兆円を超える財政支援として地方の元気臨時交付金の制度を創設しました。

国の経済対策は、我々地方財政を運営する側にとって役立つ反面、一昨年の東日本大震災については、津波による未曾有の被害のみならず、原子力発電所の被

災による放射能汚染被害も発生し、被害の収束には長い年月がかかるものと予想されます。

少子高齢化の進展による社会保障費の増大を消費税でまかなう方向が既定となった中、国の予算編成においても国債の発行などに依存する厳しい予算編成となっています。

私たち自治体の財政にとっても、消費税の税率改正、原子力発電所の停止に伴う電気料金の値上げなどは、行政コストを上昇させる要因ともなり、先行き不安な現状に変わりはありません。

そうした中、本町の平成25年度の一般会計当初予算総額は対前年度比で2.5%減少の約92億4千万円となり、平成24年度からの繰越事業費約18億円と合わせて約110億円の支出規模となります。

本予算は、住民生活の安定に主眼をおいて本年度予算を編成したものであり本予算の執行が、地域の雇用対策や景気対策に寄与することを強く望みます。

「那賀町まちづくり計画」の推進に向けて（まちづくり主要施策対応事業一覧）

(3) 環境衛生の整備

①合併処理浄化槽設置事業	7,054千円
合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水からの河川環境の保全に努めます。	
②合併浄化槽維持管理事業	1,500千円
合併処理浄化槽の法定検査の啓発向上を目指した取り組みを行います。	
③クリーンセンター施設整備に関する計画支援事業【新規】	17,853千円
クリーンセンター施設整備に向けて、基本計画の策定と生活環境への影響調査を行います。	

(4) 防災体制の充実

①消防設備整備事業	18,174千円
防火水槽を木頭地区に1カ所設置するほか、木沢地区にヘリポートを設置します。各地区では、消防水道や消防機材を整備するなど消防機能の強化を図ります。	
②自主防災組織整備事業	2,000千円
町内117地区に設置された地域防災組織の活動の活性化と新たな組織の育成を行うことにより、防災意識の向上を図ります。	
③木造住宅耐震改修事業及び簡易リフォーム改修事業【一部新規】	7,620千円
南海・東南海地震に備えた木造住宅の耐震化を図り、地震に強いまちづくりを推進します。また、今年度から老朽化した危険廃屋の解体支援も開始します。	
④公共施設耐震診断・改修事業	7,210千円
電源立地地域対策交付金事業を活用して、上那賀東体育館の耐震補強評定や耐震改修の実施設計を進めます。	
⑤災害被災者等支援対策事業	10,000千円
災害被災者等に対して、被災後迅速に住居、生活物資、食料等に対する経済的支援が行えるよう災害見舞金などの被災者への支援充実を図ります。	
⑥災害対策事業【新規】	3,595千円
発生が予想される、地震や豪雨災害等に対応するため、各支所等に備蓄倉庫を設置し、食料や給水容器を備蓄します。	

町では、平成22年度から取り組んでいる「那賀町行政改革プラン2010」に基づき行財政改革を推進しつつ、「住む人、来る人に魅力いっぱいのもち」の実現を目指し、「那賀町まちづくり計画」の推進に努めてまいります。

平成25年度当初予算における「まちづくりの主要施策」に対応するための主な事業は、次のとおりです。

なお、複数の分野にまたがる事業については、主たる分野に記載しています。

1 自然環境に配慮したやさしいまちづくり

(1) 自然環境の保全

①自然環境保全事業	4,315千円
環境美化パトロール員の強化や町内一斉清掃などにより、環境美化啓発運動を推進します。	

2 だれもがゆとりの中で安心して生活できるまちづくり

(1) 道路、交通体系の整備・充実

①道路基盤整備事業	684,692千円
社会資本整備総合交付金事業や地方道路整備交付金事業などを活用して地域の状況に応じた道路の改良・整備を進めるとともに、既存の町道の適切な維持管理に努め、通行の安全を確保します。	
②代替バス等運行事業	64,421千円
唯一の公共交通機関であるバス路線の維持を図り、高齢者や通学者の利便性を確保します。	
③スクールバス運行事業	44,031千円
小中学校への遠距離通学による不便性を解消するため、スクールバスを運行します。	

(2) 地域の安全の確保

①交通安全対策事業	3,561千円
ガードレールやカーブミラーなど交通安全施設の整備を図るとともに、交通安全教育の推進により安全意識の高揚に努めます。	
②防犯対策事業	6,570千円
防犯灯の設置により、住民の安全・安心を確保するとともに、防犯意識の高揚に努めます。	

(5) 子育て支援の充実	
①こどもはぐくみ医療給付事業 【継続】	21,494千円
中学校卒業までのこども乳幼児を対象に医療費助成の現物給付を行い、子育てしやすい環境の整備に努めます。また、こどもはぐくみ医療システムを導入し、適正な給付に努めます。	
②ブックスタート事業	60千円
読み聞かせによる心豊かな子育てを支援するため、0歳児に絵本を配付します	
③結婚・出産祝い金事業	4,000千円
結婚や出産を祝福し、若者の定住を促進します。	
④子育て支援センター運営事業	80千円
わじきこども園における子育て支援センターにより、保護者の幅広いニーズに対応した保育サービスを提供します。	
⑤放課後こども教室事業	5,250千円
鶯敷小学校、相生小学校、桜谷小学校及び木頭小学校において、地域の方々の参画を得て、安全・安心な子どもの活動拠点を設けます。	
⑥児童手当の支給	132,000千円
中学生までの子どもを対象に子どものための手当を支給します。	
⑦保育料の軽減	4,200千円
平成22年度から幼稚園、保育園における保育料を平均15%軽減していますが、今年度も同制度を継続し子育てのための経済支援を推進します。	
⑧虹の丘遊具修繕	1,600千円
来場者の多い虹の丘の老朽化した遊具を修繕し、子育てに役立ちます。	
(6) 地域コミュニティによる支え合い	
①まちづくり協議会補助事業	9,700千円
町内各地区のまちづくり協議会の取り組みの支援や、コミュニティ助成事業により横石地区のだんじりの修繕を行い、地域におけるコミュニティ活動を促進します。	

4 みんながつくる個性と活力があふれるまちづくり	
(1) 地域の特性を活かしたイベントの開催	
①各種イベント助成事業	7,970千円
「エキサイティングサマーインわじき」や「木頭杉一本乗り大会」等のイベントや各地区の夏祭りなどの開催を支援し、「にぎわう那賀町づくり」を促進します。	
(2) 交流の促進	
①移住交流支援センター事業	560千円
体験ツアーの開催や空き家情報の発信等を行い、都市からの移住や都市との交流を促進します。	
②特色ある学校づくり事業（中学生交流事業）	3,769千円
北海道釧路市（音別）との中学生同士の交流を行うなど、広い視野を持った青年の育成を図ります。	
③「もんでこい丹生谷」運営協議会事業	1,000千円
都市在住の那賀町出身者と町民との交流会を開催し、「ふるさと」とのふれあいを深めることにより町の後継者の確保と都市からの移住を促進します。	
④阿南・那賀・美波定住自立圏事業	5,583千円
平成23年3月24日に阿南市と締結した定住自立圏の形成に関する協定や、同じく阿南市と同協定を締結した美波町を合わせた3市町で策定した定住自立圏共生ビジョンに基づき次のような事業を行う。 ・保育所の広域的な相互利用 ・鳥獣害防止対策事業 ・火葬場使用料軽減事業など	

⑦町独自の常備消防組織設置にむけての準備【新規】	65,880千円
平成24年度には那賀町上流地区（上那賀、木沢、木頭）における救急体制充実のため、平谷地区に拠点となる「海部消防組合那賀町上流支署」を設置し、今年度から救急業務を開始しました。 平成26年度からは、消防本部を海部消防組合から独立させ、那賀町独自の消防組織を設置します。そのために本年度は高規格救急車両や救助工作車両の購入などの準備を行います。	
⑧役場庁舎等の耐震改修事業（相生庁舎改築工事設計）【新規】	24,000千円
災害時の拠点となる、役場や支所の耐震改修事業を順次行います。 本年度は、前年度予算による鶯敷本庁舎の耐震改修工事を完成させるとともに相生分庁舎の耐震改修工事の設計を行います。	
(5) 住宅・住環境の整備	
①公営住宅維持管理事業	10,043千円
町営住宅の維持修繕工事を行い、居住環境の改善・充実に努めます。	

3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり	
(1) 健康づくりの取り組み	
①総合健診等実施事業	14,655千円
各種健診を実施するとともに、健康教室や健康相談を充実し、町民の健康づくりに努めます。	
②乳児・母子健康診査事業	10,022千円
乳幼児や妊婦の健康保持のため、各種検診を行います。	
③各種予防接種実施事業	19,941千円
定期予防接種やインフルエンザ予防接種に加えて、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を行い、疾病予防に備えます。	
④不妊治療費助成事業	300千円
少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を助成します。	
(2) 保健・医療体制の充実	
①医師確保対策事業	700千円
医療体制を充実するために、本町に赴任した医師が働きやすい環境づくりと医師の確保対策に取り組めます。	
(3) 高齢者福祉の充実	
①外出支援サービス事業	1,500千円
高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、タクシーを利用した外出を支援します。	
②高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	991千円
各種の趣味講座等を開催し、高齢者の生きがいと健康づくりに努めます。	
③高齢者生活状況確認事業【新規】	100千円
郵便局と提携し、一人暮らし高齢者の生活状況を把握と支援を行います。	
④木頭デイサービスセンター修繕【新規】	22,591千円
木頭デイサービスセンター施設の修繕をおこない、介護サービスの充実を図ります。	
(4) 障害者福祉の充実	
①あすなる作業所運営支援事業【増額】	8,677千円
小規模作業所のあすなる作業所やグループホームの支援を拡充し、障害のある方の生きがいと社会参加を促進します。	

③林業振興・活性化事業	33,295千円
間伐材の搬出補助、林業従事者の社会保険料等補助、町産木材を利用した木造住宅建築補助、林業研究会等への活動補助等を通じ、林業振興と活性化を支援します。	
④農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業	76,517千円
林業振興を図るため、作業道を整備します。	
⑤木材利用推進住宅事業【新規】	106,557千円
鷲敷地区に那賀町産木材を利用した住宅を4棟建築して、町産材利用の推進を図るとともに、住宅については、土地も含めて将来的には売却します。	
⑥林道維持管理事業	56,746千円
林道の維持管理を行い、木材の搬出コストを削減し、林業振興と活性化を図ります。	
⑦道整備交付金事業費	440,308千円
林業振興と活性化を図るため、林道の開設や改築工事を推進します。	
⑧森林管理受託センター準備室運営事業【継続】	6,058千円
平成24年度に設置した森林管理受託センター準備室の運営を図り、平成26年度の同センター発足を目指します。	
⑨森林管理受託センター準備室による林業施業実施【継続】	271,105千円
森林管理受託センターでは、林家からの委託により林業施業を実施し、林家への利益還元の上を目指すと同時に、今年度設置する準備室においても、林業施業を実施することにより、事業実施上の課題等について検討し、同センターの円滑な運営を目指すこととします。	
⑩農業振興・活性化事業	11,077千円
農業生産物の種苗代等の補助や、特産物流対策費補助、主産地拡大対策費補助、その他各種農業団体等への活動費補助などを通じて農業の振興と活性化を図ります。 また、農業協同組合と協調して、農業従事者を増やすため、農業版ハローワーク事業である農作業支援事業に取り組みます。	
(3) 商工業の振興	
①商工会活動支援事業【一部新規】	12,050千円
商工会の運営、商工業者の経営改善資金の利子補給、街路灯維持費及びプレミアム商品券の発行事業などへの補助を通じて商工会の活動を支援、商工業の活性化を図ります。また、買い物弱者の調査を行い買い物弱者対策にも取り組みます。	
②地域雇用創出特別交付金事業	9,600千円
厳しい雇用情勢に対処するため、ふるさと雇用事業及び緊急雇用創出事業を実施し、雇用、就業機会の確保を図ります。	
(4) 観光・レクリエーションの振興	
①各種観光交流施設運営事業	38,040千円
交流人口や滞在客の増加を図るため、施設設備の整備・修繕を行うなど各種観光交流施設の運営を支援します。	
②「四国の右下」イベント事業	500千円
徳島県南部総合県民局と協調して南部の地域ブランドの確立や、交流人口の増加を図るため、食博覧会の開催や登山道整備などに取り組みます。	
③観光協会運営支援事業	1,660千円
那賀町の観光の活性化を図るため、観光協会の運営を支援します。	

⑤地域おこし協力隊の設置および運営事業【新規】	17,894千円
地域おこし協力隊員を都市部から募集し、町と地域の間において、各地域の課題に対応したり、地域の活性化を図ります。	
(3) 地域内外への情報発信	
①丹生谷応援団支援事業	1,030千円
徳島大学の協力を得て、町民の自主的な参加により、幅広い視点でまちの再生を目指す「徳島大学地域再生塾丹生谷応援団」の活動を支援します。	
②移動通信用鉄塔整備事業	11,290千円
緊急・災害時の連絡手段の拡充を図るとともに、地域間情報通信格差の是正を図るため、相生の蔭谷南地区において、携帯電話用の鉄塔を整備します。	
③町勢要覧作成事業【新規】	5,000千円
那賀町が誕生から10年目となる平成27年3月を目標に、那賀町の現在の姿を記録した町勢要覧を作成します。	

5 すべての人の個性や創造性が生きづく教育文化のまちづくり	
(1) 学校環境の充実	
①山村留学支援事業	2,000千円
木頭北川地区での山村留学の取り組みを支援します。	
②小中学校校舎維持修繕事業	16,811千円
各小中学校の校舎等の修繕や空調設備工事を行い、安全で安心な教育環境を整えます。	
(2) 生涯学習の推進	
①社会教育充実事業	17,501千円
生涯にわたる学習を支援し、文化活動の活性化や地域リーダーの育成を図るため、町内各地区において、各種講座を開催するとともに、青年団、婦人会などの団体の活動を助成します。 また、今年度は、那賀町に伝わる民話集を発刊します。	
(3) 教育・体育・文化施設の充実及び活用	
①スポーツの振興	46,161千円
スポーツの振興を図るため、野外活動センター、各地区の体育館、グラウンドなどの町有体育施設の修繕などを行い、体育施設を適切に管理運営するとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。	
②文化財の保護及び文化活動団体支援事業	8,596千円
坂州農村舞台の修繕など各種文化財の保護を行うとともに、北川農村舞台、坂州農村舞台、川俣農村舞台、八面農村舞台、鎌瀬農村舞台及び拝宮農村舞台での人形浄瑠璃公演開催を支援、伝統芸能の保存・継承を促進するため、各種団体への支援を行います。	

6 地域の特性を活かしてさまざまな産業が育つまちづくり	
(1) 地域産業の振興	
①バイオマスタウン推進事業	35,818千円
林業の再生や雇用の拡大による町の活性化と地球温暖化対策を推進するため、バイオマスタウン構想の具体化に向けた各種事業を行うとともに、太陽光発電や小水力発電などの再生可能エネルギー利用拡大にも取り組みます。	
(2) 農林業の振興	
①鳥獣害対策事業【拡大】	43,797千円
深刻化する農林産物の鳥獣害対策のため、従来のネット、電気柵等の設置に加えて大型檻の設置などの経費を助成するとともに、有害鳥獣駆除捕獲委託事業を行います。 また高齢化する駆除班の後継者づくりのため、狩猟免許取得や狩猟保険に対する助成などを行います。	
②中山間地域等直接支払交付金事業	58,092千円
中山間地域での条件不利農地の保全を図る取り組みを支援します。	